

愛知・岐阜・三重3県の防衛広報誌

# TOKAI

東海防衛だより

2020  
令和2年

冬



犬山城

## 冬号の内容

- ◆ 令和2年版防衛白書
- ◆ 周辺対策事業の紹介(伊勢市)
- ◆ 採用業務の紹介(業務セミナー・現場説明会)
- ◆ 愛三岐の街から(犬山市)
- ◆ 東海3県の防衛生産・技術基盤(F-15戦闘機)

# 令和2年版 防衛白書（日本の防衛）

## 防衛白書の概要

令和2年7月14日、令和2年版防衛白書が閣議配布されました。

防衛白書は、わが国の現状と課題及びその取組について広く

内外への周知を図り、その理解を得ることを目的として毎年刊行されています。令和2年版防衛白書で刊行から50周年を迎えました。

表紙には、より多くの読者の方に親しみをもっていただくよう、また、日本の防衛白書であるとの点も体现する観点から、



こととしました。

本年の防衛白書においては、新型コロナウイルス感染症に対する防衛省・自衛隊の活動、大雨や台風、豚熱等に対する災害派遣活動や中東地域における日本関係船舶の安全確保の

ための情報収集活動の開始など、令和元年度の内容を中心に、重要な国際情勢や防衛省・自衛隊の活動について、全体像が分かるようにしています。また、国内外で様々な活動に従事する約50名の自衛隊員の声や、本文に関連した50本以上の動画（即時再生が可能なQRコード）を掲

載するなど、よりわかりやすく、使いやすい白書を追求しました。さらに、防衛白書の海外への発信の重要性を踏まえ、白書本冊については英語版を、ダイジ

エスト版については英語、ロシア語、中国語、韓国語、フランス語版を防衛省のホームページに掲載しています。

### 防衛この1年

#### 新型コロナウイルス感染症との闘い

世界的大流行（パンデミック）となった新型コロナウイルス感染症は、わが国を含む国際社会の安全確保上の重大な課題となりました。その感染拡大防止に向け、防衛省・自衛隊は能力を駆使して活動を行いました。

20（令和2）年11月、中国における新型コロナウイルス感染症の感染の拡大が懸念され、日本からの渡航者に対する検閲を強化する等、関係国と連携して対応しました。また、感染、重症などの対応を行っている自衛隊員を支援し対応しました。

20（令和2）年3月28日からは、新型コロナウイルス感染症に対する水際対策の強化、市中感染拡大防止のため、自衛隊員等による生活圏における検閲や民間施設スタッフに対する感染対応訓練にかかわる教育支援、自衛隊中央病院における市中感染の受入れなど様々な取組を実施しました。

#### 自衛隊中央病院における活動

自衛隊中央病院においては新型コロナウイルス感染症患者の受入れ、重症など対応に奮り取り組んだ様々な取組を実施しました。

#### 国内外に向けた情報発信と共有

防衛省・自衛隊は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、防衛省や自衛隊などから発信する情報を取組を通じて関係国に共有しました。また、新型コロナウイルス感染症対策を行う中で得られた情報・経験・知見については、在米大使館を通じて、在米大使館を通じて、自衛隊員と関係国に共有しました。また、自衛隊員と関係国との取組を実施しました。（6月16日現在）

#### 新型コロナウイルス感染症に対する防衛省・自衛隊の主な活動

活動	実施期間	内容
自衛隊中央病院における活動	2020年3月28日～	新型コロナウイルス感染症患者の受入れ、重症など対応に奮り取り組んだ様々な取組を実施しました。
国内外に向けた情報発信と共有	2020年11月～	防衛省・自衛隊は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、防衛省や自衛隊などから発信する情報を取組を通じて関係国に共有しました。また、新型コロナウイルス感染症対策を行う中で得られた情報・経験・知見については、在米大使館を通じて、自衛隊員と関係国に共有しました。また、自衛隊員と関係国との取組を実施しました。（6月16日現在）
新型コロナウイルス感染症との闘い	2020年1月～	世界的大流行（パンデミック）となった新型コロナウイルス感染症は、わが国を含む国際社会の安全確保上の重大な課題となりました。その感染拡大防止に向け、防衛省・自衛隊は能力を駆使して活動を行いました。

するとともに、紹介しています。

## 地元首長への説明

東海防衛支局では、管轄区域内の地方公共団体の長等に対し、防衛省・自衛隊の各種施策の基本的事項等について説明を行い、可能な限り防衛省・自衛隊の施策に対する問題意識や要望等の把握に努め、地方公共団体等の幅広い理解を得られるよう、防衛省・自衛隊と地方公共団体との連携強化を図っています。

9月には、大村愛知県知事、古田岐阜県知事及び鈴木三重県知事に防衛白書の説明を実施しました。

また、東海防衛支局においては、中部方面総監部及びその他の部隊等の協力を得つつ、愛知県、岐阜県及び三重県内の約60の市町村等に防衛白書の説明・配布を行っています。

なお、地方協力本部が実施するものをあわせ、管内の全ての地方公共団体に白書の説明・配布を行っているところです。

防衛白書は一般の書店で販売

令和2年版防衛白書は、防衛省・自衛隊の活動やわが国を取り巻く安全保障環境について、読者の皆様にこれまで以上にご理解いただき、また親しみをもっていたることを追求しており、大きな特色の一つである新型コロナウイルス感染症に対する防衛省・自衛隊の総力を挙げた活動について、白書本文だけではなく、巻頭特集「防衛この1年」においても多数の写真を交えて大きく取り上げて多面的に紹介しており、わが国を含む国際社会の安全保障上の重大な脅威となったことも踏まえ、重点的にかつ、わかりやすい記述にしています。

具体的には、これまでの防衛省・自衛隊の取組として、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」への対応、宿泊施設における支援、水際対策強化に係る災害派遣、自衛隊病院等への陽性者の受入れ、各国との防衛相電話会談の実施など、長期間にわたる幅広い内容となっていることも踏まえ、白書本文において、その取組を網羅的に記述

しているほか、防衛省のホームページにも電子版が掲載されていますので、是非ご覧ください。



防衛省ホームページ  
(防衛白書)

<https://www.mod.go.jp/j/publication/wp/index.html>



大村愛知県知事 (右)



古田岐阜県知事 (左)



鈴木三重県知事 (左奥)

# 伊勢市立 保育所ゆりかご園 小俣幼稚園（機能復旧工事）

明野飛行場  
周辺

防衛施設周辺対策事業とは、自衛隊等の行為又は防衛施設の設置若しくは運用により生ずる障害を防止又は軽減するための事業です。

保育所ゆりかご園・小俣幼稚園の先生の声、空調機器の復旧工事を行ったことにより、今夏の猛暑の中、屋内の保育・教育活動が、涼しく快適な環境でできました。園児たちも元気よく過ごしています。



職員室



保育室



伊勢市立 保育所ゆりかご園（施設外観）

防衛省では、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づき、地方公共団体などが、航空機騒音を防止又は軽減するために、行う学校や幼稚園、保育所等の防音工事に対し、補助金を交付しています。

また、防音工事後約15年以上経過した施設のうち、工事の際に設置した空気調和設備（冷暖房機器類）の機能が著しく低下した施設において、その取替工事を行う場合も、機能復旧工事として補助金を交付しています。

伊勢市立「保育所ゆりかご園」は平成13年度に、「小俣幼稚園」は昭和53年度にそれぞれ防音工事を実施しましたが、工事後の年数経過により、能力の低下や修理・修繕が顕著になってきたことから、令和元年度から令和2年度にかけて冷暖房機器の取替工事を実施するため、「保育所ゆりかご園」に約1千7百万円、「小俣幼稚園」には約4千百万円の補助金を交付しました。



伊勢市立 小俣幼稚園（施設外観）



保育室



保育室

# 東海防衛支局職員採用業務のご紹介

## 防衛省業務セミナー・現場説明会



防衛省業務概要説明

東海防衛支局は、防衛省で働くことを検討されている方のために、陸上自衛隊と合同で「業務セミナー」及び「現場見学会」を開いており、参加者が直接職員に具体的な業務内容などに関する質問をしたり、実際の職場の雰囲気を経験していただく機会をつくりました。

本年は、7月と8月に業務セミナー（東海防衛支局）と現場説明会（陸自守山駐屯地）を計5回計画し、累計で約40名の方に参加いただきました。

開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、検温や消毒、ソーシャルディスタンスの確保に努めて実施しました。

東海防衛支局では、職員の採用に関する取り組みを毎年行っており、防衛省ホームページでご案内していますので、防衛省で働くことに興味がある方は是非参加をご検討ください。

### 業務セミナー（東海防衛支局）



防衛局業務概要説明



若手職員との懇談会

### 現場説明会（陸上自衛隊守山駐屯地）



装備品等概要説明



職場見学・業務概要説明

#### 【参加者の声】

- 直接お話を聞き、業務の内容や職員の方の人柄を知ることができました。
- 働く人の生の声を聞き、具体的なイメージがわきました。
- 多様な業務に関われることと、大きな組織であることが実感できました。
- 日本の防衛のために働く、自衛隊のサポートをできることに魅力を感じました。

「愛三岐の街から」



# 愛知県 犬山市

いぬやま



山田拓郎 犬山市長

【人が輝き 地域と生きる  
“わ”のまち 犬山】

犬山市は愛知県の最北端に位置し、清流木曾川や緑豊かな里山などの自然と、国宝犬山城や古墳をはじめとした歴史遺産、地域に根付く伝統ある祭のなど、多彩な地域資源に恵まれています。

また、道路や鉄道網など都市部とのアクセスも良く、市民活動が活発で地域コミュニティがしっかりとしている犬山市は、まさに「住んでよし」、「訪れてよし」、「商売やってよし」を実感できるまちです。

国宝の「犬山城」とその「城下町」、ユネスコ無形文化遺産の「犬山祭」、世界かんがい施設遺産である「入鹿池」、各テーマパークなど、東海地方有数の観光都市である一方、犬山市を支えている基幹産業は製造業です。昭和30年代後半から犬山市の工業は急速な発展をとげてきました。現在、犬山市で働いている人は、男性・女性ともに製造業で働いている人が最も多



犬山祭



入鹿池

くなっています。工業系の企業誘致や市内企業の事業拡張などを促す産業集積誘導エリアを見直し、「しごと場」を提供する企業誘致、市内企業の事業拡張の支援に取り組んでいます。

また、恵まれた地域資源を広く知らせるためにふるさと納税にも力を入れています。平成30年度の集計では「愛三岐の街」の中では9番目で約6億円、令和元年度は約6億5千万円の応援をいただきました。ありがとうございます。子育て施策への応援が多く、返礼品は地元企業のベビー用品が人気です。

【自衛隊との関わり】

豊かな自然がある反面、面積の約45%が山林のため土砂災害なども危険され、もしもの災害時には自衛隊の皆さんのご支援が大きき力になります。平時にも市の行事にご協力をいただき、毎年2月に行われる「読売犬山ハーフマラソン」(令和2年および令和3年2月は新型コロナウイルスの影響で中止)では、春日井駐屯地から陸上自衛隊のジープやバイクなどを展示していただき、気軽に記念撮影などに応じていただいています。今後もこの協力体制を確固たるものとし、市民の自衛隊の活動への理解が深まることを願っています。



昨年の読売犬山ハーフマラソン会場での自衛隊車両展示

# 新たな防衛計画の大綱の策定とこれを支える 東海三県の防衛生産・技術基盤(その三)

## F-15戦闘機(能力向上)

### 自衛隊の戦闘機の歴史

冷戦当時、東西諸国間の対立が増す中、我が国においては、1954年に航空自衛隊が創設され、F-86戦闘機が日本の防空の任を担うこととなりました。

その後、米国から導入したF-104、F-4、F-15戦闘機や、我が国で開発したF-1、F-2戦闘機を導入し、防空能力を向上させてきました。現在でも防空能力の強化が進められ、F-35の取得や、F-2の後継機は国際協力を視野に入れ我が国主導の開発に着手しています。

また、長年国防を担ってきたF-15も近代化改修を施し、引き続き活躍することが期待されています。

### 日本の空を守り続ける F-15戦闘機

F-15は、1980年代から導入が進められ、約200機が配備され、現在でも、空自の主力戦闘機となっています。他方、我が国の周辺諸国においては、近年の経済発展や航空

技術の進歩を反映し、新しい戦闘機(ロシアのSu-35や中国のJ-20等)が配備・増強され、航空戦力が強化されています。



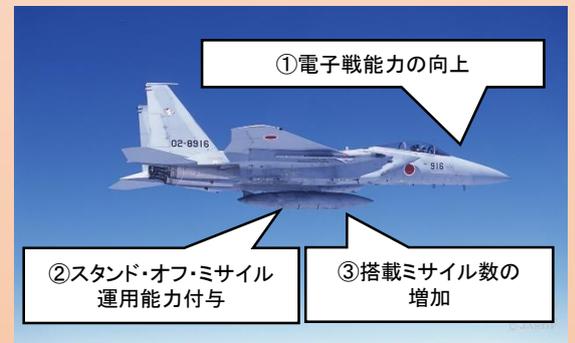
Su-35  
戦闘機



J-20戦闘機

(平成29年版防衛白書より)

F-15は、今から約30年以上前に導入された戦闘機であり、探知能力の向上を図るための搭載レーダーの換装、戦闘状況表示能力の向上を図るためのデータリンク搭載などの近代化改修を施し対処してきました。大綱等においては、既に近代化改修を実施したF-15を対象に①更なる電子戦能力の向上、②スタンド・オフ・ミサイル運用能力の付与、③搭載ミサイル数の増加等の能力向上を図ることをとしています。



F-15能力向上改修(イメージ)

(令和元年版防衛白書により作成)



スタンド・オフ・ミサイル(イメージ)

### 自衛隊の戦闘機の製造・ 修理を支える東海地区

これらの戦闘機の製造や修理を支えてきたのは、当支局の管内にある三菱重工業株式会社の小牧南工場(愛知県豊山町)です。

同工場では、戦前には零式艦上戦闘機(ゼロ戦)を製造し、戦後も数多くの戦闘機を開発、生産等をするなど長い歴史を有してきました(前身工場を含む)。  
現在は、前述のF-15能力向上改修、F-2能力向上改修などを実施し、本年からはF-35の整備が開始されるなど、自衛隊の戦闘機のサポートをする重要な拠点となっています。  
当支局は、同工場内に約20名の検査官を常駐させ、これらの改修、修理に係わる監督や検査をしております。  
支局の全検査官は、監督・検査を通じて安全で高い品質の戦闘機などの装備品を自衛隊に送り出すことを強く意識して任務を遂行し、日本の守りを守る役割を果たしています。



改修作業を確認する支局の検査官

## 岐阜飛行場周辺の住宅防音事業に関するお知らせ

防音建具機能復旧工事について、75W以上80W未満の区域では、これまで昭和60年度までに防音工事を実施した住宅を対象に希望届の受付を行っていましたが、令和2年10月より、防音工事実施後、10年以上経過している住宅を対象に、希望届の受付を開始することとなりました。

補助の対象となる工事など、詳細は東海防衛支局ホームページをご覧ください。下記までお問合せ下さい。

※防音工事、空気調和機器機能復旧工事の希望届も随時受付をしています。

東海防衛支局ホームページ：「岐阜飛行場周辺における防音建具機能復旧工事の希望届の受付について」

<https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/oshirase/5-bouon/jyuutaku-bouon/tategufukkyuu-osirase.pdf>

お問合せ先：東海防衛支局防音対策課住宅防音係 052-952-8226



## 周辺財産（移転補償跡地）の有償使用のご案内

航空自衛隊岐阜基地（岐阜飛行場。各務原市）周辺の防衛省所有の土地について、有償による貸付（使用許可）を行っております。

駐車場や物置、畑などの利用や、プレハブなど簡易な建物（住居としては使用できません。）も設置することができます。

対象となる土地や利用の流れなど、詳細は東海防衛支局のホームページをご覧ください。下記までお気軽にお問合せ下さい。



駐車場利用のイメージ

東海防衛支局ホームページ：「基地周辺住民の皆様へ」

<https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/oshirase/R2siyoukyokagoannnai.pdf>

お問合せ先：東海防衛支局施設補償管理課 052-952-8224



## 東海防衛支局長着任紹介



東海防衛支局長  
西方 孝  
2.9.1着任

本年9月1日付で東海防衛支局長を拝命した西方です。

東海防衛支局が管轄する東海3県には、多くの防衛施設や防衛生産・技術基盤が所在しています。

わが国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、自衛隊の活動の基盤を支えるこの地域の重要性は益々大きくなっています。

今後とも、地域の皆様のご理解とご協力を頂けるよう、防衛施設の安定的運用や防衛装備品の着実な取得などにしっかり取り組む所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

